allcinema

夜ごとの夢（1933）

メディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 日本
色彩 B&W
初公開日 1933/06/08

【解説】
成瀬巳喜男が自身の原作を監督したサイレント映画。池田忠雄が脚本（脚色）を担当した。世界的な不況時代を背景に、社会の底辺で生きる人々の暮らしを見つめる作品。
夫に家を出て行かれてしまったおみつは、幼い息子の文坊と二人で貧しい生活を送っている。おみつは港町の酒場で身を売って生計を立てていた。そこへ夫の水原がひょっこり帰ってくる。おみつは水原のことを許せなかったが、文坊のために同居することに。子供もすっかり父親に打ち解け、幸せな家庭生活が訪れたかに見えたが、水原は仕事が見つからずにいた。そんなある日、文坊が交通事故で大けがを負ってしまう。治療費のために体を売ろうとするおみつを引き止め、水原は自分で金を集めると言い出すのだが…。

【クレジット】
監督 成瀬巳喜男
原作 成瀬巳喜男
脚本 池田忠雄
撮影 猪飼助太郎
衣裳 松下松之助
詞 久保田宵二
曲 古賀政男
出演 栗島すみ子 おみつ
小島照子 その子・文坊
斎藤達雄 夫・水原
新井淳 隣りの人
吉川満子 その妻
坂本武 船長
大山健二 船員
小倉繁 船員
飯田蝶子 女将
沢蘭子 おみつの友達
雲井ツル子 女給
若水照子 女給
仲英之助 医者
大国一郎 人事係
西村青児 刑事
谷麗光 守衛

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.